

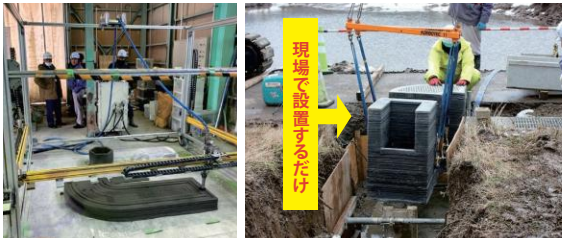


インフラDXの推進

インフラDXとは、データとデジタル技術を活用して、国民のニーズを基に社会資本や公共サービスを
変革することです。業務そのものや、組織、プロセス、建設業や国土交通省の文化・風土や働き方を革新し、
生産性の向上や働き方改革を通じて「安全・安心で豊かな生活」の実現を目指します。

● 工事現場のDX活用例

> 3Dプリンタで排水構造物を施工



- 従来の現場打ち工法よりも、工期は半分以下に短縮。省人化も可能となり、職人が不足する災害現場等で活躍
- 排水の流れがスムーズになるような複雑な形状も施工可能

> 県外から無人の重機を遠隔操縦



オペレーターは石川県輪島市から300km以上離れた千葉県君津市から操作

土砂崩れの現場では2次災害の危険性が高く、復旧工事は安全対策が必須!

- 危険な現場を無人施工で安全性確保
- 室内の操作でオペレーターの労働環境向上
- 災害現場等で不足するオペレーターの確保に貢献

● DX技術の普及

> DX技術が体験できるイベントの開催



地元建設会社、地元自治体、地元高校生等が体験

> DX技術研修の開催



施工技術者や発注者(職員、自治体関係者)が受講して、DX技術を習得

● 職場にもDX技術が浸透しています!

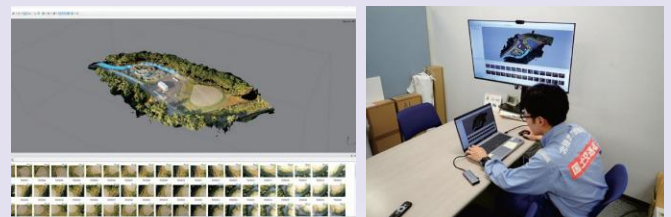
北陸地方整備局で開催する **DX研修で習得したスキル** や **生成AI** を活用して、
国営越後丘陵公園「ながおかアーバンバイクパーク」の3Dモデルを作成&HP公開しました。

STEP1: 飛行計画作成、撮影



研修で習得! UAVの飛行する高度、速度、ルート等を設定し、実際に現場で撮影

STEP2: 3Dモデルの作成



研修で習得! **生成AI活用!** 解析ソフトを使って空撮写真から3Dモデルを作成。3Dデータの後処理方法は生成AIを活用して習得

STEP3: 作成した3DモデルをHPで公開

完成!!

生成AI活用! HP公開するためのプログラミングコードを生成AIで作成



作成したHP ※Wi-Fiでの閲覧推奨

```

1 <!doctype html>
2 <html lang="ja">
3 <head>
4   <meta charset="utf-8" />
5   <meta name="viewport" content="width=device-width, initial-scale=1" />
6   <title>{{title}} </title>
7   <style>
8     <meta charset="utf-8" />
9     <meta name="viewport" content="width=device-width, initial-scale=1" />
10    <title>{{title}} </title>
11    <style>
12      body { height:100%; margin:0; background-color:#e0e0e0; color:#000000; font-family:sans-serif; text-align:center; padding:10px 0 0 0; }
13      header { display:flex; align-items:center; gap:10px; padding:5px 0 0 0; }
14      background-color:#e0e0e0; border:1px solid #ccc; width:100%; height:100%; }
15      meta { position:relative; height:100%; }
16      model-viewer { width:100%; height:100%; background-color:#e0e0e0; }
17      controls {
18        position:absolute; top:10px; left:10px; display:flex; gap:5px; flex-wrap:wrap;
19        background-color:#e0e0e0; border:1px solid #ccc; border-radius:5px; padding:5px 10px 5px 5px; }
20      z-index: 10; /* 画面上部を指定 */
21      media (max-width: 640px) {

```



「北陸インフラDX人材センター」でインフラDXの見学・体験が可能です。詳しくはHPをご覧ください。



国土交通省
TEC-FORCE
Technical Emergency Control FORCE

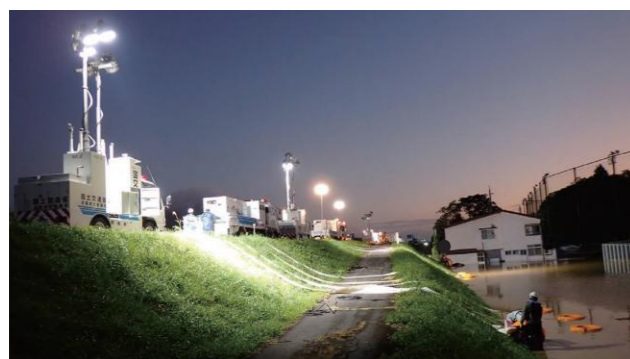
防災 TEC-FORCE

迅速な対応が求められる、地震や豪雨などの大規模自然災害。常に備えを万全にし、発生した場合には、迅速にTEC-FORCE(緊急災害対策派遣隊)が出動。被災状況の把握、社会基盤施設の復旧、二次災害の防止に努めます。



> 緊急災害対策派遣隊 (TEC-FORCE)とは

大規模な自然災害等に際して、被災状況の把握、被害の発生・拡大の防止、被災地の早期復旧
その他災害応急対策に対する技術的な支援を行います。
隊員は、専門的な知識や現場経験を有した全国の国土交通省職員で構成されており、北陸地方整備局からも多くの職員が任命され、活躍しています。



技術 昭和62年度採用 防災部 防災室 室長



防災室・災害対策マネジメント室では、災害発生時に災害対策本部の運営を行うとともに、一般被害を含め所管施設等の被災情報を収集する初動対応やTEC-FORCE隊の派遣調整・指揮命令を行っています。また、隊員の訓練研修や災害査定窓口等の業務、さらに整備局職員の防災対応能力の向上を目的に、様々な訓練の企画・運営や関係機関や建設業等の災害協力団体との連携・強化に関する調整なども行っています。最近の災害では、TEC-FORCEの活動に対し、被災自治体や住民の皆様がその活動に期待しており、その期待に応えるべく、日々体制を整えています。昨今の気候変動も影響してか自然災害が頻発化・激甚化する中、日頃の業務を通じて培った職員の技術力が被災地においても不可欠となっています。私自身も、熊本地震や令和元年東日本台風、令和6年能登半島地震等に被災状況調査班班長として従事し、TEC-FORCE活動がいかに被災自治体や住民の皆様役に立っているかを肌で感じてきました。私たちは地域の生命・財産を守り、復旧・復興に全力を注ぐ任務に誇りを持っています。



令和2年7月豪雨
砂防の被災状況調査(熊本県山江村)



令和2年12月雪害
除雪車による除雪支援(関越自動車道)



令和6年能登半島地震
道路の被災状況調査(石川県輪島市河井町)



令和6年9月の豪雨災害
河川の被災状況調査(石川県珠洲市)

令和6年能登半島地震及び9月豪雨災害からの復旧・復興

北陸地方整備局は能登半島地震、9月豪雨災害からの1日も早い復旧・復興に向けて、事業を進めています。工事進捗や現場紹介、奥能登の魅力発信をしているので、ぜひのぞいてみてください!



能登ポーズ
親指で能登半島を表現しています
出典:国土地理院地図

Web page X



復旧・復興の進捗情報



復旧・復興の今を発信

YouTube Instagram



若手職員による現場紹介



現場から見える奥能登の魅力



能登復興事務所の職員

